

ケアプランナー・指定相談事業所連絡会

執行部：八田麻子(相談支援センターはぴねす)、本山さゆり(あいくる)

上野和昭(ライフサポートりんどう相談室)、青木裕梨(エコーンファミリー)

ケアマネ連絡会担当者：浅井芙美子(北部障害者相談支援センター)、

田中みどり、伊藤清孝(南部障害者相談支援センター)

長野市障害福祉課担当者：倉島英俊、立原博之

1、年間テーマ

2、部会等の開催状況

日時		会場	人数 (人)	部会のテーマ	主な内容
月	日				
5	2	Zoom 市役所	19 22	だれでも研修	・サービス等利用計画作成について ・長野市障害ふくしネットについて
6	15	市役所	23	・CW と話そう	・障害福祉課 CW とコミュニケーション ・市内新設事業所の紹介
8	8	Zoom 市役所	22 20	・ケアプラン作成について	・実務プランの流れについて ・アセスメントの取り方について 【グループワーク】質問したいことを話し合う ・質疑応答
10	11	Zoom 市役所	27 22	・介護保険について	・介護保険制度について 講師：長野市役所保健福祉部介護保険課 羽賀隆課長補佐 土屋俊之係長 質疑応答
12	9	市役所 Zoom	16 18	成年後見制度について	・資料をもとに学びを深める。
2	10	市役所	32	・1年を振り返って	・令和4年度のまとめと振り返り ・令和5年度にやりたいこと 【グループワーク】

3、機関紙、冊子、アンケート調査・行事など報告書

・今年度の振り返りと来年度に向けてのアンケート実施。

令和4年度 事業報告

4、課題について

(1)主な検討課題

・アンケート内容、執行部での意見を出し合い、毎回内容を決めた。

(2)検討の目的と結果(現状)

(3)引き続き検討が必要とされる課題

(4)部会の運営体制について

- ・ケアマネ、市ケースワーカー、相談支援専門員が連携し、運営をおこなった。
- ・新型コロナの感染レベルに応じて、会場と Zoom を活用して行なった。5 月に「だれでも研修会」を行ない、隔月の開催をほぼ予定通りに6、8、10、12、2月に開催した。参加者は、昨年同様各事業所 1 人に限定した。第 5 回については、人数制限を行わず集合開催とした。
- ・各回のテーマは年度末のアンケートと執行部での意見をまとめた上で設定。
- ・執行部は市内北部・南部から 2 名ずつ新旧の調整をしながら選出。

5、総括(1 年間を振り返って)

相談支援専門員の抱える困りごとを共有できる場として 1 年間取り組みをおこなった。新型コロナの影響で個で困っていることを連絡会の中で関係者と共有をおこなった。個での困り感を地域の課題として捉えていくことが出来ないかと考え、毎回テーマを設定し連絡会を開催した。

また業務内容に関するの困り感などもアンケートの中で確認でき、長野市からの情報共有、プラン作成時に関する説明、新規事業所の情報提供、介護保険制度と成年後見制度についての研修もおこなった。さらに今年度もケースワーカーと直接話ができる場を設け、親交を深めることができた。特に少人数事業所では、他に相談できる相手がいない孤独や不安等を感じている意見も聞かれるため、連絡会で他の相談員と繋がりをつくれる場としても開催することができた。

来年度も関係者でコミュニケーションを取れる場として様々なテーマを検討しながら開催していきたい。